廿四日刊
磐城時報

福島縣石城郡平紺屋町十四町
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷
福島縣石城郡平南白土町十四
印刷所　如水會活版所
福島縣石城郡平南白土町十五
發行所　磐城時報社
一部金拾錢　一ヶ月金壹圓
廣告料一行十錢　特約廣告料ハ別
本日刊（日曜、祭日）休刊

町役場敷地移轉は
機宜を得た處置
平町の膨張は南漸する
……伏見平町長談

最近平町役場當局及有志間に唱へられつゝある町役場新築豫定地の變更說に對しては所在地が余りに南部に偏し現在における町の中心から隔絕してゐる處から將來町民一般の被る不便少からぬものあるべしと觀測し遽に肯定出來ぬ議論として迎へてゐる向も相當あるらしいが右に就き伏見町長は語る。

近き將來において第四小學校が新川向ふに建てられることになればさらでだに南漸膨脹しつゝある平町としてこの方面に役場を置くといふことは決して機宜をあやまつたものといふことは出來ない、而も卑近な例證を擧げるなれば現在の福島驛を彼所に決定する當時は多數市民のため極めて不便の場所であるとして各方面の反對囂々たるものあつたが今日の狀態から觀て何人もこれを不適當なりとするものがない事實に徵しても蓋し思ひ半に過ぐるではないか、平小鐵道、小名濱商港の完成後においてをやである。時の流れと世の中の動きとを度外視しては議論にならない。云々

磐城銀行に
開業の曙光見ゆ
二十八日重役會を開き
甦生案の承認を求む

休業中の磐城銀行は二十二日に第六回の休業期間が終了したので二十三日午前十時から同行に重役會を開き同日から更に一ヶ月間の休業をなす事に決定した同行は飽迄單獨開業の方針を以て着々內容の整理及び甦生案につき奔走中であつたが、昨今大体の整理案成り開業の曙光を見出して來たので二十八日重役會を開き甦生案についての承認を求め尙ほ引續き株主總會を召集し右の案を附議する筈で休業以來一ヶ年に充たざる前に開業の運びに至るものと見られ、これによつて濱通り地方金融界は安定するに至るべく各方面から期待されてゐる。

委員六名をあげて
鮫川疏水復活運動
荒川水電社長と交渉した上
縣當局にも促進陳情

鮫川堰普通水利組合總會は昨報の如く二十三日午前十時から平町元石城郡役所に開き各種事項を協議した後鮫川疏水復活問題について協議したが、同疏水の復活には工費三十四萬圓の巨額を要するので、到底地元負擔は堪へられぬ事業であるから鮫川堰へ堪へられない程寒いも道理、昨日小名濱測候所について寒暖計の下りあん梅を聞くと、二十二日夜十時から昨日の午前十時へかけての最低溫度が實に氷点下四度五といふ聞くさへふるへ上がる下り方である、而も名物の空つ風が昨日正午の觀測で十一メートルといふ風速で氣象方面の所謂暴風といふやつである、この十メートル以上の所謂暴風が今月になつてから當日まで九日あつた事などは先づ以て珍らしいことである、今回の寒さは北海道東方の沖合にある低氣壓七四六ミリと支那北部に在つて漸次日本へ押て來る七八二ミリといふ高氣壓と氣壓の差が甚だしいためで今夕か明日になれば大分平常に復しかけると思はれる。（二十三日正午小名濱測候所）

水利組合の總會は二十五日午前十時から平町元石城郡役所に開き昭和二年度決算、昭和三年度豫算の件を協議する。

貴員改選
石城の運動

來る二月十三日行はるゝ貴族院議員補欠選擧に當り政友會からは郡山市の根本祐太郎氏出馬する事となり石城郡に於ける有權者十五名に對しても運動を開始されたが、十五名のうち二三名を除いては全部政友系の人と見做すべく尙ほ一兩日中には佐藤幹事長並に根本候補者來郡の上運動を試みる事になつた。

▲桑園改良協議

石城郡植田、錦、山田三町村聯合桑園改良奬勵會では二十四日午後一時より植田町役場に關係町村長を集め明年度豫算を附議する

酒母麹鑑評會
入賞者決まる

石城郡酒造組合主催酒母麹鑑評會は二十三日午前九時から平稅務署樓上に於て行つたが小池地方技師審査の結果酒母出品点數八十五点、人員四十六人、麹出品点數三十三点、人員二十四人中左記優良品を決定した。

▲酒母（順序不同）小名濱町小野晉平、內郷村四家又一、平窪村松吉屋酒造店、磐崎村御代武兵衛、植田町鷲清昇、高久村鈴木喜太郎、川部村芳賀嘉右衛門、平窪村松本德一、平町馬目玉彌、鹿島村佐原久治、赤井村渡邊貞三、高久村鈴木兵十郎、同本馬佐源治

▲麹　鈴木喜太郎、松本德一、鈴木兵十郎、渡邊貞三、芳賀嘉右衛門、四家又一、豊田吉松、馬目太平治、永山繁木、馬目玉彌、高久村矢吹清貞

四日午前十時から平町石城郡役所に開き

伏見彦衛（平）金成淺吉（好間）伊藤淺之助（飯野）小泉三代喜（湯本）鈴木榮（小名濱）中村立躬（泉）永井億爾（玉川）國井義（小川）木田源治（平窪）大平睦四郎（勿來）

各町村長出席し、社會改良、生活改善の件について協議したが結局過般石城郡方面共濟委員會で決議した同和會と相呼應して生活改善を行ふ方針に決した。

町村長會で
生活改善
方法協議

石城郡町村長會評議員會は二十

昨年のやうな不況は
今年はあるまい
入山採炭前期の利益

入山採炭會社の前期の出炭高は二十萬四千噸に對して販賣高は十九萬四千噸で前々期に比し一割以上減少し利益は七萬五千圓常磐炭礦も前期中採炭並に送炭の制限の實があがつて安定してゐる、今後も引續き右制限を行ふ筈であるから本年の炭況は合理的な市價を維持して昨年の如き不況を見る樣な事は先づあるまいと見られ稍樂觀されてゐる

種水洗と
貯藏方法
―技手のお話

石城養鹽同業組合では目下鹽種貯藏期なので一般當業に水洗並に貯藏方法を指導してゐるが、右に就て成田技手は語る。

鹽の凶の原因は種々あるけれども要するに優良な鹽種を選まねばならぬ、然し如何に良い無毒な種でも卵面に有機物や毒がつけば不良鹽種と同じ事になるから水洗が必要で其時期は丁度今から二月頃迄の冬季間に於て三時間以上清水に浸漬して後軟かな刷毛樣のもので靜かに卵面を洗ひ落し更に二三度清淨な水ですゝぎ水を切つた後鹽座に藁を敷いて其上に載せ蔭干にする、尙ほ乾燥中結氷する事あるも心配がないから火氣や太陽に絕對に當てゝはならぬ、水洗後充分乾燥すれば元の目方より輕くなるからそれを貯藏するには木香新らし器物や簞笥長持類に入れては惡い貯藏器はなるべく溫度の變化のない低溫の所に置かねばならない。

ハガキ集
―（投書歡迎）―

▲私の好きなハガキ集に惡口ばかり出てゐるのは殘念です二十三日の午前十一時頃でした小學校五年生位の女子が平驛待合室からホームに向ふ途中、按摩さんが杖に縋つて迷つてゐるのを見て親切に汽車に乘るまで手を曳いてやつたあの可愛い少女、どうかして名前を知り度いものです（白銀町山崎生）▲平町役場に一人不親切な受付け係りがゐます、伏見町長さん御注意下さい。（田町イス生）

季節御料理
よせなべ類
天丼
仕出しは迅速配達致します
平町南町平館隣り
鰻
蒲燒　魚榮
電話四二四番

昨今の寒さ
―小名濱測候所觀測

北海道東方の沖合にある低氣壓七四六ミリと支那北部に在つて漸次日本へ押て來る七八二ミリといふ高氣壓と氣壓の差が甚だしいためで今夕か明日になれば大分平常に復しかけると思はれる。（二十三日正午小名濱測候所）

最後の授業

四倉校　森生

（一）

この物語は今から六十年ばかり前、フランスの一地方に起つた悲しい出來事であります。フランスは隣の國のドイツと戰爭をしてとうとう敗けてしまつたのです。そしてフランスの領地の、アルサスロートレンスは敵國ドイツのために占領されてしまつた。その結果アルサスの住民は、つらいことには、ドイツ人の命令をきいて、生れてから今日まで敎へられてきたなつかしいフランスの言葉の代りに、敵國ドイツの言葉を習はなければならなくなつた。この戰にまけた國民の悲しい心をありのままに小說に作つたのは、有名なるフランスの小說家でありました。

この小說のあらましを英語でかいたのがあるのですが、私は更に、私共の言葉に代へて大略を御傳へします。

勿論日本の有名な人々の何人かゞ、或はフランス語から、或は英語から、日本語に譯したものがたくさんありますがそれは他日、又別に讀んで下さい。

朝からポカ／＼と暖く、美しく晴れ渡つてゐた。私は其の朝大變おそくなつて、學校で先生に叱られやしないかと心配してゐた。

その上、今日の宿題を怠けてきたことを思ひだすと身振ひした。（つゞく）

平町紺屋町
吉田眼科醫院
電話六八番

廿三日から三日間
午後五時開場
聚樂館
魔術
歌劇
舞踏
喜劇
諷刺
滑稽
音樂
曲技
天勝一座

伊勢參宮、京都紫宸殿拜觀、奈良巡拜
遊覽團体開催
▼會期　武月武拾日
▼會費　金廿九圓五拾錢
（但し申込と同時に金五圓納入し殘額は二月迄五回に分納の事）
▼人員　貳百名の豫定
▼申込　事務所　尼子亭
通信班及び救護班を設く
即刻申込まれよ！
募集期間中と雖も滿員の際は締切り候
主催者　尼子亭
會計監督　吉田直之助
會計　山崎清三
會計　志賀盛榮
贊助員　平驛長　豐崎治助
後援　常磐毎日新聞社　磐城新聞社　磐城時報社
事務所　尼子亭　松ヶ岡公園內　電話二三〇番
印刷物は　加納活版所

靴とカバンは
福山に限る
平町役場前　福山支店

石版活版印刷
三國屋印刷所
平町鍛冶町
電話五三三番

磐城病院改稱
市原病院
平町田町（電話一一四番）
內科、小兒科　市原卯太郎
外科一般、婦人科　市原陸郎
花柳病科　市原三三男

內臟外科
骨關節外科
整形外科
專門
藤本順

產婦人科
外科
婦人科
產科
院長
木村寅次郎
木村醫院
平町新川町（電話一六四）

盛美酒　銘酒　酒
瓶詰へ
平町四丁目平驛通り
永山酒造店小賣部
電話二〇七番

支那公印丸
特約店　平町五丁目　山野邊藥局

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店　西村屋藥舗
平町二丁目
電話三番

專門
外科
平町南町
X光線科
上田外科醫院
電話一二九番

セキの藥
祐痰
鎭咳液
特約店
關內藥局
平町四丁目　電話四〇番

◎廿四日ヨリ巨彈又巨彈……
舊歲未謝恩第二回大興行
▼日活特作……名匠池田富保監督
主演　山本嘉一、岡田時彥、河村菊江、河部五郎
大久保彥左衛門　全廿卷　全部上映
日活のみ巨費を投じて完成せる名篇
▼本邦映畫界第一級推薦映畫
主演　河部五郎、酒井米子、大河內傳次郎
名篇　修羅王　前後篇　全部上映
浪人？直參？今宵も三つの魂が消へた……倒幕の犧牲は三つ增した……吾等の滿願は近づいた……御用だ……寄ればゝ村正の鍔が鳴るぞ……觸れば汝の魂が浪ゆるぞ……
普通席　金十錢　平館